

中学生と乳幼児親子のふれあい体験授業

くすくすふれあい新聞 第12号

子育てネットくすくすでは、平成17年より善通寺市立東中学校と協力して“命のすばらしさや大切さ、親への感謝の気持ちや自分の存在価値・他者を思いやる気持ちを持つことで自己肯定感を育むなどの目的に、毎月1回『ふれあい体験』をスタートしました。平成24年からは3年生全クラスに『中学生と乳幼児親子のふれあい体験授業(家庭科)』を行うようになりました。

コロナ禍はオンライン開催でしたが、今年度からは直接ふれあったり話したりすることができました。緊張しながらも赤ちゃんを大切に抱っこしている姿や、子どもたちと目を合わせて優しく微笑む姿に、参加してくれた親子も安心感を覚えたようです。中学生にとっても親子にとっても、貴重な時間になりました。



『子夢の家』の様子を動画で紹介！



○×クイズ

ママの感想

- ・男の子も女の子も気軽に抱っこしてくれてありがとうございます。
- ・マタニティで参加しました。お腹をいっぱい触ってもらって中学生がどう感じたか気になります。
- ・お兄ちゃんに抱っこされてにっこりと笑っている姿にほっこりしました。
- ・自分が思っていたより積極的で優しくかったのでびっくりしました。
- ・中学生も昔の自分に興味を持ち、両親に聞くことがあればいいなあ。



中学生の感想

- ・意外と重く感じました。
- ・ミルクを飲んでもらえてかわいかったです。
- ・自分のきょうだいの小さい時を思い出して懐かしかったです。
- ・小さい子がかわいすぎて、給食が食べれないくらいお腹いっぱいになりました。



校長先生より

日頃の生活では、なかなか交わることのない赤ちゃんや中学生。両者が会うことによって生まれる優しくあたたかな交流。その中で特に中学生は、普段の学校生活では見せることのない、弾けるような笑顔を赤ちゃんと同様に見せてくれます。思春期や反抗期を迎える中学生にとって、自分自身を素直に振り返れるとても良い機会です。

このような貴重な体験をさせていただける場を提供していただき、心より感謝しています。

スタッフより

今年は念願の対面でのふれあい体験授業ができました。

オンラインとは違い、子どもたちの表情や動きを直接見ることができたので、中学生にもかわいさだけでなく大変さが伝わったのではないかと思います。

長年実施してきた授業を通して、当時中学生だった子どもたちが親となり赤ちゃんを連れて参加してくれています。このように地域で循環していくことが私たちの喜びです。中学生が成長し親になったときに、くすくすがあったなあ、子どもと一緒に遊びに行ってみようかなあ、と思ってもらえるように今後とも活動を続けていきたいと思っています。

ご協力、ありがとうございました。

